平成 29 年度　第 3 回

江戸城三十六見附を歩くーその２（市ヶ谷～新橋）

日　時：平成 29 年 3 月 10 日（金）所沢駅　8 時 45 分集合　快晴

参加者：18 名

見学場所及びコース：

所沢駅(8:50)準急…小竹向原乗り換え…有楽町線市ヶ谷駅(9:43)⇒市ヶ谷門⇒四ツ谷門⇒休憩⇒喰違見附⇒赤坂門⇒日枝神社⇒昼食⇒虎ノ門⇒休憩 喫茶店⇒幸橋門⇒芝口見附⇒新橋停車場鉄道歴史展示室⇒JR 新橋駅…池袋経由所沢（解散）

今回は集合時に若干のトラブルがありましたがすぐに解決し、快晴の中の前回の最終地の市ヶ谷から見附巡りの開始となる、今回も山本さん作成の案内ガイド・ガイド地図及び江戸の古地図を元に、特に案内ガイドの説明文及び写真等の資料の素晴らしさが際立ちました。市ヶ谷門から四谷門を通り真田掘りを眼下に見ながら喰違門までのコースは新宿の高層ビル、迎賓館も見られる散歩コース、このコースは田淵さんからの花見の提案があり、希望者は田淵さんと連絡を取ってみてください。食後に歩いた霞が関官庁街では今も残る外堀の石垣を見学し、途中コーヒータイムをとり、最後のコースの新橋まで歩き、残念ながら新橋停車場鉄道歴史展示室は休館中でしたが、全員無事に JR 新橋駅まで到着し、仮解散し所沢組と東所沢組とに分かれて帰路に付きまました。晴天に恵まれた素晴らしい定例行事となりました。皆様ご苦労様でした。　居田　記

参加者の感想・コメント：感想・コメントをいただいた方からも提案もあり、提案をいただい方の名前を挙げさせていただきました。

■ 戸村さんから：3月例会散策お疲れさまでした。無機質のビル群の中に佇む石垣に触れると歴史の重みと、ごつごつした手づくりの温かみがあり、ひと時のやすらぎを覚える空間でした。やすらぎを求めて次回も楽しみです。

■ 田淵さんから：娘時代に丸ノ内線で通勤しておりましたので「赤坂見附」の駅名は馴染んでいましたがあれから５０年～　感無量で石垣を見つめました。人力にしか頼れない時代に計算し尽くされた石垣に先人たちの　凄まじいまでの力量にただただ感服するのみでした。今回のコースは桜の満開時に是非もう一度行ってみたい名所です。何方かご一緒御願い出来ますか。日枝神社に祀られている「大山咋神」比叡山との関係良く分かりました　有り難う御座いました。

■ 高瀬さんから：ところ会で歩くコースは私にとっては初めての場所ばかりでとても楽しみです。今回は平成の東京の中に江戸の遺構がひっそりと残っているのに驚きの一日でした。停車場（ていしゃば）！懐かしい響きでした。祖父母を思い出しました。　次回はぜひ新橋停車場博物館を見学したいです。

左上：尾張名古屋藩屋敷跡、上：赤坂見附跡、左横：日比谷セントラルビル石垣の前で、右横：赤坂日枝神社前で

■ 小林さんから

２月２５日（土）に「ひとりところ会」をしてきました。喰違門から始まる紀尾井坂の「イチョウ」と「クロガネモチ」の並木、日枝神社の山門を出て左に折れたところの「楠」の並木が特に素晴らしく、長い時間をかけて街路樹を育ててこられた方々に感謝したい気持ちです。

球音のこだます真田堀の春